

カブドットコム証券株式会社
 (コード番号: 8703 東証1部)
 代表執行役社長 斎藤 正勝

2010年9月3日

東証「取引時間拡大」に関する顧客アンケート（13,000名）の結果につきまして ~ 東証「市場運営委員会」にアンケート結果を報告。「昼休みの撤廃・短縮」は 83.4%が支持 ~

カブドットコム証券株式会社は、2010年8月6日（金）から8月30日（月）の間、当社社長斎藤正勝も委員として参加している東京証券取引所「市場運営委員会」での取引時間拡大に関する議論を踏まえて、当社のお客さまにアンケートを実施しました（有効回答顧客数：13,000名様）。

当社ではこのアンケート結果を東証「市場運営委員会」に報告し、より良い証券市場の構築に尽力して参ります。

●アンケート実施概要

調査期間	2010年8月6日（金）～8月30日（月）
調査対象	当社に口座をお持ちのお客さま（約71万3,000名様）
回答顧客数	13,000名様
回答率	約1.8%
調査方法	当社ログイン後ページにて →



●アンケート結果サマリー

・ 「昼休みの撤廃・短縮」は83.4%が支持

～「世界標準に合わせるべき」「昼休み1時間半は長すぎる」～

昼休みの撤廃・短縮については83.4%が支持するという結果となり、個人投資家の多くが昼における取引時間拡大を求めていることが伺えます。40歳代前後の会社員が昼休みの撤廃・短縮を望み、高齢・高資産のお客さまほど現行のままを望まれる比率が高くなっています。

・ 「現物市場における夜間取引の導入」は54.9%が支持

～「帰宅後に取引したい」「取引所が行えば流動性高まる」～

現物市場における夜間取引の導入については、54.9%と半数以上が支持したものの、「まだ参加社数の少ない私設市場（PTS）も取引所で行えば流動性が高まる」という意見もありました。公務員および信用・先物・FX口座開設済み顧客ほど支持率高く、主婦や法人等は半数以上が現行のままを望まれています。

- ・「派生商品市場（TOPIX先物等）におけるイブニング・セッションの取引時間拡大」は65.1%が支持

～「取引機会の拡大」～

派生商品市場（TOPIX先物等）におけるイブニング・セッションの取引時間拡大については65.1%が支持。大証と同程度は実施すべきと言う意見が多く、現行のままで構わないという意見が続きました。先物口座を開設済み顧客は特に大証と同じ時間帯での実施を望まれています。

- ・「午前立会開始時間の前倒し」は57.2%が「現行のまま」を望む

～「変更して欲しい理由が無い」「海外市場を意識して」～

午前立会時間の前倒しは、57.2%が「現行のまま」を希望。前倒しは派生、現物とともにが26.3%で、現物のみ13.9%、派生のみ2.6%を大きく上回る結果となりました。主婦・法人・高齢のお客さまが特に現行のままを望み、取引の少ない顧客と多い顧客や会社員・教職員・公務員が前倒しを望まれています。

(1) 昼休みの撤廃又は短縮

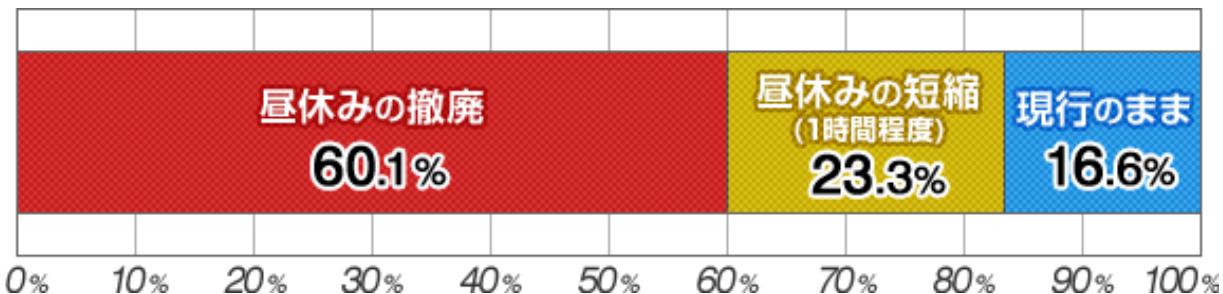
【質問内容】

現在、東京証券取引所の昼休みは午前11時から午後0時30分までの1時間半となっていますが、世界主要各国の取引所では、アジアの一部を除き、昼休みはなく連続的に取引が行われています。「昼休みの撤廃又は短縮」について一番あてはまるご意見を下記よりご選択ください。ご意見等あれば備考欄にご記載ください。

【結果】

昼休みの撤廃	7,812	60.1%
昼休みの短縮（1時間程度）	3,029	23.3%
現行のまま	2,159	16.6%
合計	13,000	100.0%

<昼休みの撤廃・短縮>



【主なご意見】 コメント数1,418件

- ・世界主要各国に合わせて、世界標準にすべきだと思います。（38歳会社員、50歳地方公務員など多数）
- ・システム化された時代に、昼間カーテンを閉めて休み時間を取りこと自体、信じられません。病院でも郵便局等金融機関でもそんなことはやってません。顧客ニーズの優先が取引量の増大につながります。（51歳教職員）
- ・世界基準に乗り遅れれば、更に東京市場が取り残される。サラリーマンとしては、昼休みの投資機会が増えるので良いに決まってる。コスト増は削減努力で。（54歳会社員）
- ・現行のチャートをみると、午前終値と午後のギャップが大きいことが多い。なるべくなめらかに変動するのが望ましい。（43歳会社員）
- ・世界基準に合わせるべきです。これからは昼飯のんびり食べたい人は他の業界へ。

(39歳自営業)

・世界の流れに遅れることは、日本の株式市場が世界から取り残され、ますます縮小することに繋がると思います。むしろ、日本のシステム技術を駆使し取引時間を24時間化するなど、世界に先駆けて取引の自由度を増すことが日本の株式市場の活性化につながると思います。（40歳会社員）

・取引時間は長ければ長いほどよく、特に昼休み時間帯なら意義が大きい。サラリーマン投資家など呼び込む可能性は高く、売買高にプラス効果もある可能性もある。昼休中の他マーケット動向やバスケット取引なども搅乱要因となるため、昼休みだと注文が出しづらい。（30歳会社員）

・世界の流れに沿うのが本当は重要だが、私自身は昼休みがあったほうが気分的にメリハリがつくため。しかし本当に市場参加者が増えるのであれば、活性化のためにはやむを得ないと思う。（33歳自営業）

・前場と後場の区切りは必要だと思うが、昼休みに90分は長すぎる。企業で一般的な60分とする方がよい。（36歳会社員）

・対面営業の証券会社で昼休みの対応のための人員費がコスト高になると考えられますが、個人的には昼休みはない方が好ましい。機械のメンテナンスなどで取り引きできない時間が必要であれば、1時間といわず少しでも短い時間にしてほしい。（42歳会社員）

・段階的に撤廃方向に行くのが望ましい。とりあえずは、30分～1時間程度の短縮から始めるべきだと思います。（41歳会社員）

・よそはよそ、日本はこれでよし。私たち個人もこの間の時間が大切です。もちろん昼食もあり、頭の整理の時間もあります。ぜひこのままお願いします。（61歳無職）

・先物を中心にトレードしているが、昼休みを前提に前場・後場のトレード・ルールを設定している。昼休みがなくなるとルール変更が必要になり、ちょっと困る。（63歳無職）

(2) 現物市場における夜間取引の導入

【質問内容】

TOPIX先物はじめ派生商品市場のイブニング・セッションと同様に、現物市場におけるイブニング・セッションについて、一番あてはまるご意見を下記よりご選択ください。

【結果】

現物市場もイブニング・セッションすべき	7,135	54.9%
現行のまま	5,865	45.1%
合計	13,000	100.0%

<現物市場における夜間取引の導入>



【主なご意見】 コメント数733件

- ・流動性の問題があると思いますが、市場は開いていたほうが良いと思います。コストがさほどかからないのであれば、やったほうが良いと思います。（61歳自営業）
- ・PTSにおける夜間取引が低調なのは、そもそも各PTSに参加する証券会社が少ないか

ら。取引所がおこなえば、売買はもっと活発になり、株式の流動性が高まるはずだ。（40歳国家公務員）

・夜間等はPTSに任せればよいと考えるが、情報開示をイブニング・セッションとの間に終了させられるなら現物のイブニング・セッションも可と考える。（46歳会社役員）

・夜間取引は是非導入していただきたい。会社が終わり、帰宅後に株式投資ができればよいと思います。（63歳会社員）

・各社PTSに散っているのは残念。東証がやって欲しい。（27歳会社役員）

・普通の会社員は昼間働いており、注文は前日か朝しかできません。このことを考えると公平さに欠けると思うので、できれば夜間も昼間と同じような株式市場を開いて欲しいと思います。（35歳会社員）

・現役世代のホワイトカラーのサラリーマンを取り込むには、現物のイブニング・セッションは必須。現行制度では主婦・学生・高齢者相手の市場になってしまっている。（45歳団体職員）

・現物市場の大引け後の午後3時30分などに業績発表などの大きなニュースリリースが公表された場合に、イブニング・セッションがなければ、翌日の寄付きまでそのニュースに対応した売買ができない。（28歳学生）

・15時終了は短すぎる。サラリーマンが、昼間帯に売買するのは難しい。PTSでは市場参加者が少なすぎて、魅力にかける。（ほとんど約定しない）（40歳会社員）

・派生商品市場だけ夕方に取引できるという意義はありませんように思います。コンピュータ化された現在では、取引時間を拡大することに大きな支障は無いように思います。（47歳会社員）

・取引時間中に仕事などで株取引が出来ない人間は多いはず。帰宅後の取引機会を設けるべき。また、PTSを開設している証券会社にもPTS市場発展の努力を期待する。（36歳会社員）

・取引時間があまりにも短い。昼休みもそうだが、24時間に近づけても良いのかも知れない。逆に、IR関連の発表時間を夕方にし、その時間帯3時間ぐらいを周知時間にすればよい。（53歳会社員）

・取引機会の拡大の面からイブニング・セッションには賛成です。ですが、流動性を考えるとある程度取引高がある銘柄に限定したほうがいいのかも知れません。（26歳会社員）

・私設取引所の夜間取引では流動性が低いため、市場で夜間取引を実施すべき。（45歳会社員）

・デリバティブが取引可能になっている以上、現物を合わせた裁定取引も可能になってしかるべき。裁定業者の参入も期待でき、流動性の向上に寄与するものと思われる。（45歳自営業）

・個人的には現行のままでも特段の不便を感じない。（33歳会社員）

（3）派生商品市場（TOPIX先物等）におけるイブニング・セッションの取引時間拡大 【質問内容】

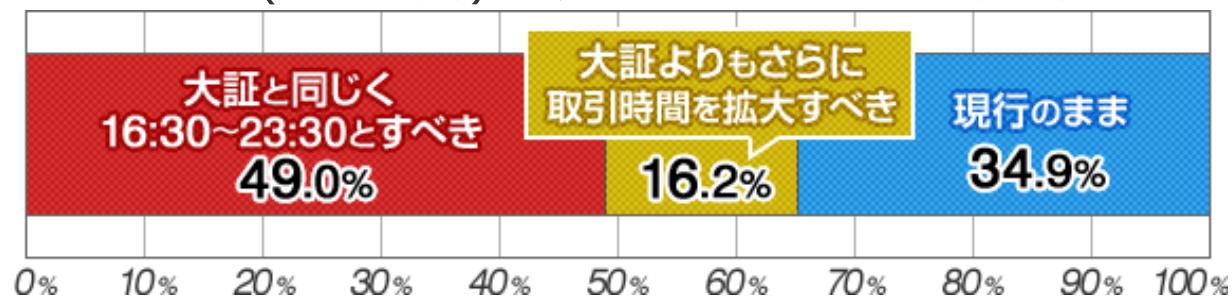
大証派生商品市場のイブニング・セッション16：30～23：30（7時間）より短い、東証派生商品市場のイブニング・セッション16：30～20：00（3時間30分）の取引時間拡大について、一番あてはまるご意見を下記よりご選択ください。

【結果】

大証と同じく16：30～23：30とすべき	6,369	49.0%
大証よりもさらに取引時間を拡大すべき	2,100	16.2%

現行のまま	4,531	34.9%
合計	13,000	100.0%

<派生商品市場(TOPIX先物等)におけるイブニング・セッションの取引時間拡大>



【主なご意見】 コメント数524件

- ・ 日本の二大市場の取引時間が、大きく違うとゆうのは、いささか投資家には、理解出来にくい。 (65歳無職)
- ・ 東証は大証を基準にものを考えるのではなく、世界の中で、どんなポジション占めたいのかを考慮し、物を考えるべきだ。 (37歳無職)
- ・ 東証と大証の時間が違うのは紛らわしい！一緒にすべきです。 (47歳会社員)
- ・ 先物はイブニングでも取引量が多いので大阪取引所と合わせたほうがいい。 (61歳主婦)
- ・ 加熱した市場を冷却する時間や、重大事項に関する記者会見等の時間を確保することを考えれば、大証と同程度の時間が適当だと思います。 (47歳会社員)
- ・ 昼間に、自分で取引できないものにとっては、投資意欲を拡大させる。 (33歳会社員)
- ・ 大証と仲良くしてください。自分の優位を主張するのではなく、日本市場を使いやさしくしてください。 (42歳会社員)
- ・ 市場関係者の方はなぜ外為証拠金取引が成長したのかを考えていただきたい。レバレッジもあるとは思いますが一番の理由は会社が終わって帰宅した後でも参加できるところにあるのではないでしょうか？サマータイム期間中は午後10時30分から取引が増えるのではないかと考えます。 (39歳自営業)
- ・ サラリーマン投資家にとっては、昼休み短縮よりも夜時間拡大の方が良いと感じる。昼休みの取引きは、本業に身が入らなくなるし.... (52歳無職)
- ・ 既にNK225が時間拡大されている以上、TOPIXも同様の扱いが望ましく、NT倍率の歪みを翌日までに持ち越さないほうが自然であります。 (66歳無職)
- ・ ヘッジ機能としてNYタイムをカバーする必要はあると思う。ヘッジ機能が海外商品に偏ることは国内の投資家にとって不利である (48歳無職)
- ・ NYを中心に、日本は動いているのだからNY時間までの稼働ギャップはなくすべきだ。 (61歳無職)
- ・ 大証の225先物はSGX・CMEにおいても同様の指數取引が行われているので、相互関連性からイブニング取引が行われるのはよいと思うが、TOPIXは225先物との関連が薄いので、特にイブニング取引を行うほどのものではない。TOPIXは現物価格との関連で動いているので、現物が取引されない夜間に先物だけ取引する必要性は海外市場との価格の牽連性の意味からも全く意味が無い。 (63歳会社員)
- ・ 派生商品の取引時間は柔軟に対応する必要があると思う。少なくとも大証とは時間を合わせ、かつ、早朝等0:00~24:00の間で隙間のある時間帯も東証が埋める対応をすべきと思う。 (47歳自営業)
- ・ 大証の後追いが多い感じがしますので先物、現物共に大証の先をいってほしいと思います。 (38歳無職)
- ・ 安易に時間を延ばしても、機関投資家の動く時間は9時5時と変わらないと思います。

(49歳会社員)

- ・ 派生商品市場についてはもっと慎重に取り扱うべき。 (30歳国家公務員)

(4) 午前立会開始時間の前倒し

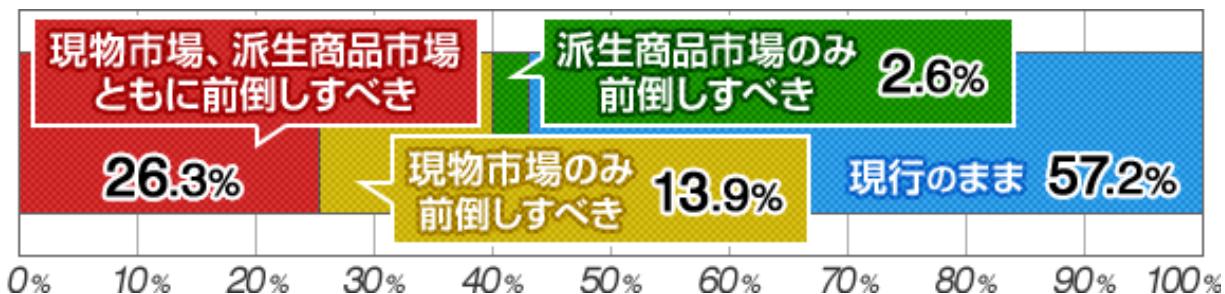
【質問内容】

現在、立会開始時間は午前9時からですが、立会開始時間について、一番あてはまるご意見を下記よりご選択ください。

【結果】

現物市場もイブニング・セッションすべき	3,417	26.3%
現物市場のみ前倒しすべき	1,806	13.9%
派生商品市場のみ前倒しすべき	344	2.6%
現行のまま	7,433	57.2%
合計	13,000	100.0%

<午前立会開始時間の前倒し>



【主なご意見】 コメント数592件

- ・ 前倒ししたからといったからといって、どのような利点があるのか、わかりづらい。(37歳アルバイト)
 - ・ 板を見ながら 展開を考える時間が必要ですから、現行のままが良いと思います 変えたいのが意見の趨勢ならば、24時間化が最もトライすべき内容だと思います。 (47歳無職)
 - ・ 特に不都合は感じていません。一般に会社は9時開始のため、8時等開始時間を早めれば便利と感じる人もいるとは思いますが、夜間の時間延長ほど効果はないと思います。会社が始まる前の忙しい時間に、株の取引をしようとは私は思いません。 (40歳会計士)
 - ・ 朝刊を読んだりニュースに耳を傾ける時間の余裕が欲しい。 (63歳無職)
 - ・ 昼休み時間が無くなれば現行の9時で良いと思います。 (63歳自営業)
 - ・ 早くするよりも、1時間遅くした方が良いのでは。早くするメリットがよくわからぬ。遅くした時間を新聞、ネットなどの情報収集に充てたい。 (62歳無職)
 - ・ 日本株の寄値は米国株の動きに影響されており、日経先物はCMEを参考とし、現物株はADRを参考にしています。しかし、東京市場が開く15分前にシンガポールで日経先物取引が始まりますので、ここでも投機筋が乱暴狼藉(笑)を働きます。日本の経済指標は8時半から発表になるものも多いので、その発表前に市場が開いていたほうが投資家にとってはありがたいことだと思います。 8:20ごろから取引できるようにすれば出来高も増える可能性が高いのではないかでしょうか。 現在でも立会い外取引は8時半ごろからやっているようですので (61歳自営業)
 - ・ 紙と電話の時代のままというのが異常。東証アローズのミリセカンドの世界とアンバランス。変なことにこだわっていると証券市場もガラバゴスと言われるようになってしま

う。 (59歳団体職員)

・ これこそ東京証券取引所の生きる道です。ニューヨークから引き継げるのは、東京だけであり、それこそ上海や香港、シンガポールが前倒しをしてきたら、地盤沈下するのは目に見えています。 (51歳地方公務員)

・ 特定市場のみ前倒しにするのは、他方の優位性（優遇面）からすべきでないと思う。

(46歳会社員)

・ まずは、現物の市場を把握してから派生商品の市場に取り組みたいな。と。個人的意見です。 (37歳会社員)

・ 役所の開始時間が、8：30なので、役所に準ずるべき。 (44歳地方公務員)

・ 取引機会を提供する観点からできる限り前倒しが望ましいと考えます。 (41歳会社員)

・ 立会時間が拡大するならば、3時間ごとに1時間ていどのクールダウン帯も考慮すべきか。 (70歳無職)

・ 米国市場との時間差が縮まれば、ギャップが縮まり日中の値幅が大きくなると思われる。 (45歳自営業)

・ 日本が金融で発展していくためには常に前進していく必要がある。国際競争力をつけるためには甘い考えでは通用しない。 (54歳会社員)

・ 先物は早いほうがヘッジできるのでよい。 (52歳会社員)

わたしたちはMUFGです。 

カブドットコム証券 <http://kabu.com>

東証1部【8703】